



発行者 ■
西東京・生活者ネットワーク



発行責任者／渡辺 嘉津子 発行日／2016年8月1日
〒202-0015 西東京市保谷町6-25-1-102
FAX／042-410-0014 E-mail／nishitokyo@seikatsusha.net

TEL 042-453-4121



たんぽぽカフェ
毎月第1、第3火曜日 13時30分～16時
参加費：100円 西東京市向台町3-1-11
TEL：042-461-7471

社会福祉法人田無の会「たんぽぽ」は、向台町3丁目の住宅街にある指定障害者支援施設です。現在、27歳から78歳まで、43名の方が施設で生活しています。

施設での日常的な虐待が報道によって明るみに出たのは、2013年6月のこと。都や市が再発防止策と経営陣の刷新を求めたものの、抜本的な改善がなされないまま2年あまりが経過。その間、多くの心ある職員がたんぽぽを去っていきました。

閉鎖的な施設運営の改革がスタート

「こんにちは」「お待ちしていましたよ、いらっしゃい」火曜日の午後、たんぽぽカフェに一番乗りしたのは施設の利用者さんたち。グループで席につき、それぞれに好きな飲み物を注文すると、約12畳ほどのスペースにコーヒーの香りが広がりました。

社会福祉法人田無の会「たんぽぽ」で、今年6月「カフェたんぽぽ」が本格オープンしました。1階の談話室が月2回開放され、地域のボランティアが運営を支えています。閉鎖的だった障がい者施設はいま、地域に見守られ、生まれ変わるうとしていいます。

障がい者施設を地域に開かれた交流の場へ

生まれ変わる田無の会「たんぽぽ」



機織りも利用者さんに好評です

旧経営陣が退陣した後、状況が動いたのは2015年7月。新たに障がい者福祉のトップリーダーである学者、弁護士ら6名を理事に迎え、家族会とともに「新生たんぽぽ」に向けた改革がスタートしました。

地域とのつながりが施設を変える

「外の目が入らなかつたことが、組織の隠れい体質を生んだ。これからは地域に開かれた施設をめざしたい」と語るのは事務局長の小沢弘さん。昨年7月に着任以来、施設の信頼回復に向けた取り組みを進めてきました。10月開催の「たんぽぽ祭り」にほつとネットの大賀晴江さん（地域福祉コーディネーター）が足を運んだのがきっかけとなり、その後、ほつとネット推進員（※）が、利用者の日中活動に市民ボランティアとして関わ

るようになりまし。施設の談話室を地域で使つても

※地域の課題を発見し、地域福祉コーディネーターと協力しながら解決に向けて協力する市民ボランティア。



左から後藤、かとう、小沢事務局長

「はたおりや園芸活動でもボランティアにご協力いただき、いまでは障がいを越えたつながりが生まれました」と語る小沢さん。新たな一歩を踏み出したたんぽぽが、地域とともに歩む障がい者施設

＊ ＊ ＊

「以前は、施設の中を見てはいけな。雰囲気があつた」と話すカフェの参加者が、「高い壁」が取り除かれてホッとした。「庭の梅の実を使ってジャムづくりができないか」と語り合つ姿も見られるなど、カフェを拠点に地域住民と施設との新たな交流が始まるうとしています。

今年6月、本格オープンしたたんぽぽカフェでは、パン工房手作りのクッキーがふるまわれ、施設のパン釜で焼かれた数種類のパンが販売されています。カフェの運営をボランティアが支え、利用者の日中活動にも豊かな彩りが添えられています。

再出発へ「たんぽぽカフェ」オープン

「ええな。いと、小沢さんから賀さんへ相談があつたのもその頃のこと。利用者が地域と触れ合えるカフェを運営しようとの方針が決まり、以来、ほつとネット推進員を交えながら準備会合が重ねられてきました。

後藤ゆう子の会計報告

(2015.1.21～2015.12.31)※1

(単位：円)

収 入	議員報酬	8,458,652	支 出	契約による生活引当金※3	2,664,516
	その他※2	351,311		所得税	782,810
	利息	63		国民年金	170,260
				生活者ネットへの寄付	5,192,396
				その他	44
	収入合計	8,810,026		支出合計	8,810,026

※1 2015年は任期が1/21～のためです

※2 柳泉園議会、都市計画審議会の報酬です

※3 生活者ネットの議員は、生活者ネットのルールに従い市民への情報提供（このレポートなど）を行なったり、市民の活動に資金を還元するため、生活引当金（年間280万）と税金、社会保険料を引いた残額を、法に則り生活者ネットに寄付を行う契約をしています。昨年は1月が10日間の任期のため日割りした額です

※住民税と国保は（議員でなかつた）前年度の所得に基づくため計上していません

※かとう涼子も議員報酬は同額ですが、その他の収入はなしです

生活者ネットワークの政務活動費内訳（2015年4月～2016年3月）

項 目	金 額	内 容
調査研究費	69,461	学習会参加費、交通費
視察研修費	52,979	視察参加費、交通費、宿泊費
広報費	0	
広聴費	7,390	議会報告会会場使用料
資料作成費	3,670	コピー使用料
資料購入費	129,388	図書購入費
事務費	157,794	インターネット回線使用料、新聞購読料
支出合計	420,682	

残額 59,318（市に返還済み）

※市議会ホームページ、議会事務局で公開されます

設のモデルケースとなる日が期待されています。

※脱稿後に、相模原市の障がい者施設「津久井やまゆり園」で、あつてはならない事件が起きてしまいました。犠牲になられた方々に、心から哀悼の意を捧げます。

政治とカネ、都議会生活者ネットワークの活動から

6月、「政治とカネ」の問題が問われた舛添前知事が辞任。生活者ネットは、事実を明らかにするために百条委員会の設置を求めましたが、都議会では否決されました。新しい都政がスタートしても、問題をうやむやにすべきではありません。また、1人263万円もかけ28人の都議会議員がオリンピック視察に行くことも問題になり取りやめとなりました。生活者ネットは当初より同視察に反対し、参加しないことにしていました。

貧困対策、子ども支援など、山積する課題を解決するためにも、クリーンな政治で信頼を回復することが必要です。

「戦争法の廃止を求める統一署名」3437筆 提出

西東京・生活者ネットは6月30日までに3437筆の署名を「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」に提出しました。全国では、1350万筆を超えました。毎日、次々と署名が届き、戦争法廃止に向けた思いが伝わってきました。

参議院選挙結果報告

「国政に市民の議席を」と、生活者ネットが比例代表で推薦した大河原まさこさんは、議席確保には至りませんでした。東京選挙区では、推薦した小川敏夫さんが当選しました。

◇ ◆ ◇

参議院選挙では、戦後4番目の低投票率の中、改選勢力が3分の2を占める結果となり、東京都知事選挙では、格差社会を産む新自由主義を標榜する知事が誕生しました。

生活者ネットは、憲法改悪に向けた動きや人々の暮らしを犠牲にする政治に対峙し、あきらめることなく生活者の視点で活動していきます。

（記：7/31）